

めざすのは
子育て家庭が抱える
地域の社会課題解決

**Aiming to Make A Difference
and Make Social
Change Happen.**

山梨県休眠預金実行団体

中間報告@山梨地域づくり交流センター Oct. 2024

悩みや困難を抱えた子どもと家族のための地域連携支援プログラム



悩みや困難を抱えた子どもと家族のための地域連携支援プログラム

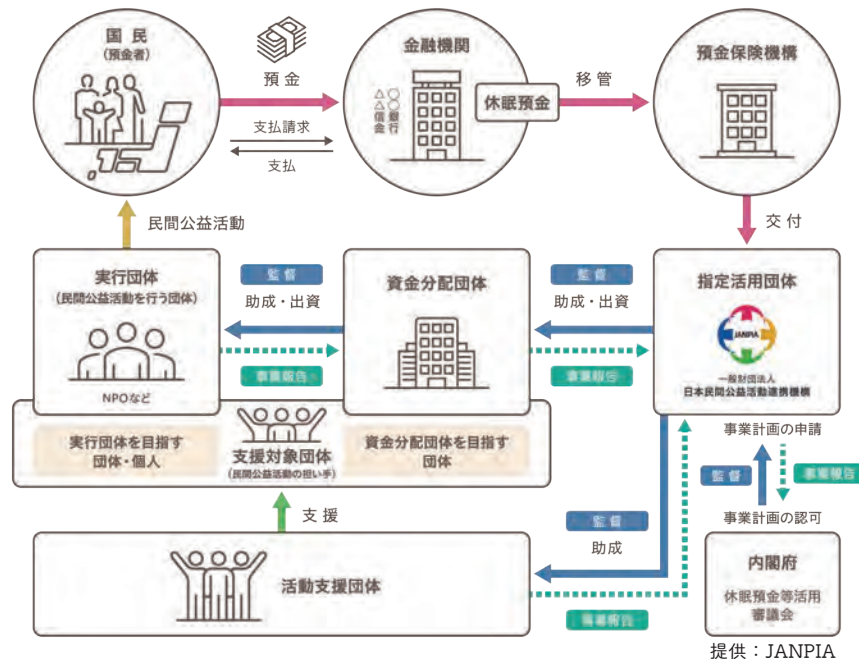
資金分配団体である認定 NPO 法人富士山クラブは、県内7つの実行団体とともに、孤独・孤立、社会的経済的不安、子育て・教育、社会参加、いろいろな分野で、悩みや困難を抱えて暮らしている子どもたちやその家族とつながり、困難な状況を生み出している課題解決に取り組み、その状況が改善されることを目指して、このプログラムを実施しています。

コロナ禍を経て、物価高騰、社会の急激な変化からのストレス、悩みや困難さの度合いは深刻になっています。実行団体の今までの活動実績から生まれた知見やスキルなどの強みや専門性を活かして、支援を必要としている人とつながり、つながり続けることによって支援を届け、また実行団体は地域の行政、住民、団体などに働きかけ、地域で連携協働できるしくみづくりに取り組んでいます。

休眠預金活用事業とは・・・

休眠預金は、10年間取引がない預金のことで、毎年約1200億円発生しています。この休眠預金を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（休眠預金等活用法）が、2018年1月施行されました。

休眠預金活用事業とは、この休眠預金を活用して、地域の社会課題の解決をめざす活動です。



私たちがなぜ休眠預金活用事業に取り組むのか

「環境団体なのに、なぜ資金分配団体として、地域の課題解決に取り組んでいるの？」とよく問われます。環境の「環」は「わ」、人と人のつながり、人と社会とのつながりを意味するのだと思います。環境の悪化は、貧困、不平等・格差、気候変動など社会課題を生む原因にもなっています。創立から25周年を迎え、自然、暮らし、経済など多様な視点から、持続可能な地域づくりに取り組むことこそ、環境を守ることに通じていると考えます。

また当クラブは、山梨県で最初に「認定」NPO法人となりました（2011年国税庁認証、2016年、2021年山梨県認証更新）。大勢の市民ボランティアの皆さんに支えられ、行政、企業、地域団体など、さまざまなセクターとパートナーシップで富士山の環境問題に取り組んできました。私たちが活動してきた日本を代表する山「富士山」がある山梨県や静岡県で、何か地域に貢献できることはないかと考えてきました。

資金分配団体として、私たちが暮らす地域のニーズから、助成事業を設計し、地域の民間団体がこの助成金を活用して、地域課題の解決に取り組み、よりよい地域になっていく。「富士山から日本を変える」を合言葉に活動していますが、変化は足元から、地域で起きた変化が山梨県全体を変えていく、その手ごたえを実感しながら、この活動を行っています。

理事長 野口健



この実行団体への助成事業は、25年2月までの助成期間ですが、実行団体の活動は、地域との連携協働で支援やつながりの輪を広げながら、続けていきます。実行団体の活動に関心がある、協力したい、寄付したい、参加したい、事業パートナーとして活動と一緒に課題解決に取り組みたいなど、ぜひ実行団体にお声かけください。（実行団体連絡一覧はP10をご覧ください）

活動がまだ十分行われていない地域課題の解決に取り組みたい、市民活動や公益的な民間活動を応援したい、活動の担い手育成に関わってみたい、資金分配団体の活動に関心があるなどの場合は、認定 NPO 法人富士山クラブや一般財団法人日本公益民間活動連携機構（JANPIA）までご相談ください。

一般財団法人
日本公益民間活動連携機構
(JANPIA)



認定 NPO 法人
富士山クラブ



認定NPO法人

Happy Space ゆうゆうゆう

代表
星合

地域で支え合う家事・子育てサポート
「KajiCo」は、笛吹市からスタート！
そして全県に広がります！！

地域で支えあう家事・子育てサポート KajiCo

地域にいる子育てに関する資格を持っている方などの協力を得る中で、子育て中に特化した地域で子育て家庭をまるごと支えあう仕組みを作る事業。

役員：6名 地域：笛吹市 設立：2005年



現状 多くの子育て支援事業がある中で、子どもを預かることはできても家庭をまるごと支援することができず、特に家事支援は、気軽に利用することができない。

Action

家事・子育てサポーター
「KajiCo」の養成を通して、
地域の力を借りた子育て環境を
当たり前の社会にする！

- 地域で子育て支援や家事支援に関心のある方を対象に、その方のレベルに合わせた家事・子育てサポーター「KajiCo」養成講座を開催します。
- KajiCo養成と実際の運用に先立ち、モニター運用を行い、利用者側とKajiCo側の両方から課題を聞き取り、本格的な運用のための手引きの作成や講座資料の作成を行います。
- KajiCo同士の交流の機会を設け、地域で子育てを行う環境づくりを進めます。
- KajiCoの本格的運用開始により、子育て家庭のアウェイ育児をホーム育児へと変えていきます。



▲養成講座についてメンバーで検討



▲先進地視察で多くの気づきを得た



▲KajiCoのモニター実施

課題 ・30分以内でできる内容について、運営側と依頼側とで認識を合わせる必要がある。
・養成講座のプログラムについて、行政などから求められる内容に準拠させていく必要がある。

プログラムオフィサー的 活動のPOINT

青木



NPOならではのアイデアで、地域で支える子育て家庭の家事サポートのしくみが画期的です。

宇佐美



子育て世帯訪問支援の先駆け的モデルとなるKajiCoに大注目！

NPO法人

きらきら星

担当
宇田川

こどもの自由な野外遊びを実践したり、学んだり、広めたりしています。中高生の居場所作りも始めました。森に行こう！！

外遊び推進プロジェクト

認可外保育施設、親子で森あそび、にしごりのプレーパーク、中高生の居場所作り。
こどもの心身の健全発達、孤立した子育ての解消、こどもに寄り添う支援ができる人材の育成、こどもの休日・放課後プログラムの充実、こどもと地域をつなぎ、こどもを軸とした地域活性化を全国の中山間地域のモデルとなるべく活動。

役員数：5名 地域：富士川町 設立：2019年



現状 少子化やコロナ禍で、こどもが外で遊べなくなっている。遊び方もわからないし、遊ぶ場所もない。

Action

外で楽しく遊べる
場所を作る。

- 小さいうちから親子で外に行ける機会を作る。(親子森あそび)
- 小学生が自由に遊べる場と遊ぶ道具を用意する。(にしごりのプレーパーク)
- こどもに寄り添い、遊びを提供できるスタッフを養成する。(研修)
- 地域の方にこどもの遊びが大切なことを知って頂き、温かい目で見守って頂く。(講演会)
- 中高生がつながり、好きなことができる居場所をつくる。(中高生の居場所づくり)



▲にしごりのプレーパーク



▲親子森遊び



▲高校生職業体験

課題 ・こどもの居場所となるような場所があるようでない。
・来年度以降の継続をどうしていくか。

プログラムオフィサーからの CHECK POINT

青木



都市型ではなく地域の資源を活かしたプレーパークで子どもの外遊び機会が増えています。

新津



豊かな自然の中で多世代が集い遊べる場所があることは、地域愛の醸成にもつながる活動。

ぽかぽかキャンプ

代表
市川

たくさんの方と出会い、対話を重ねることで、私もメンバーもアップデートされていく感覚が楽しいです！

ぽかぽかマルシェ

誰もが安心して暮らせるインクルーシブなまちへの第一歩！
～「支援する側」と「支援される側」の垣根を超え、
共につくるぽかぽかマルシェ～

障がい児やその家族が、県内3か所で行うぽかぽかマルシェの企画・実施、役に立つ経験や地域の人々との交流を通じて、自分も地域社会の一員である実感と希望を生み出す事業。

メンバー：5名 地域：富士吉田市、甲府市、富士川町
設立：2015年



現状

障がいがあることで環境面、対人面ともに困難を感じる事が多く外出や体験の機会が少なくなりがち。・障がい児者のいる家族は「行きたいところ」「やりたいこと」があっても諦めることが多い。

Action

ユニバーサルデザインで
つくるマルシェ。

ユニバーサルデザインで
つくるまち。

- 障がい児者が安心して参加できるイベントの企画を当事者と共に考える。
- 障がいがあっても、マルシェの中で役割をもち、経済活動や企画運営に参加できるような仕組みをつくります。
- 「共につくる」過程を楽しみ、みんなの声をカタチにする機会をつくります。
- 障がいについての理解を広げ、当事者も周囲の人も安心して交流できる場づくりを行います。



▲チャレンジスタッフとして働く高校生と出店者の打ち合わせ



▲町の中の障害さがし



▲マルシェ会場の下見

課題

- ・当事者や協力団体との繋がりにはできたが、継続資金や継続する取り組みをどう選択していくか。
- ・実行委員会の構成員が当事者ママのため、定着が難しい。

プログラムオフィサーからの CHECK POINT

青木



障がいがあってもなくても暮らしやすい、みんなが地域に飛び出すしかけが動いています。

宇佐美



誰もが使いやすく安心してすごせるまち、そんなインクルーシブな世界を目指す、進化し続ける「ぽかぽかキャンプ」に期待大です！

芦安ママズ

代表
加賀美

メンバー6名と子どもたちで楽しく活動しています。地域の皆さんとのきづなが深まりました。

子育ての地域力UP!

～住民みんなが家族のように関わり、
不安のない子育てができる地域をつくるプログラム～

人口約220名の過疎化地域で子育てをするママたちが、地域の子どもたちをみんなで見守れるような地域コミュニティを再生させる事業。

メンバー：6名 地域：南アルプス市芦安
設立：2019年



現状

支援センターや児童館も地域に存在せず、相談する場所や相手がいない。コロナ以降、地域コミュニティも希薄となり子育てするには厳しい地域である。

Action

子どもを中心に
地域みんなで一緒に食べて
遊べるコミュニティの場を
つくる！

- 地域がみんなでつどい、子どもと一緒にご飯を食べる食堂を開催。
- 子どもたちも役割をもち地域活動に参加できるような仕掛けを作っています。
- 地域の方に理解し、応援してもらえるように関係作りを大切にしています。
- 地域みんなで参加できる企画をし、楽しめる場づくり。
- 地域外の方にも芦安地域での子育てを知ってもらえるような機会の創出。
- 行政や学校・教育関係者も巻き込みながら、芦安地域での子育ての相談実施。



▲地域の協力者と一緒に準備



▲食事後は地域みんなでレクの時間！



▲ママズのメンバー

課題

- ・地域から続けたい声はあがっているが、継続資金をどうするか。
- ・まだ参加できていない子ども・地域住民への呼びかけ。

プログラムオフィサー的 活動のPOINT

青木



地域住民220人の見守りで安心して子育てしたい、ママたちの巻き込み力が効果大です。

新津



連携がすごい！子どもから高齢者、個人も地域団体も、そして行政まで。地域全体で活動しています。

特定非営利活動法人

WakuWakuの家
wakuwaku no ie代表
天野

着実に進んでいることを感じています。
まだまだ越えるべき壁はありますが、
仲間と共に邁進いたします！

不登校・発達障害の悩みや困難を抱えた子どもと家族を救う

連携支援プログラム

子どもたちや保護者の第3の居場所として活動し、孤立している親子とつながり、同じ境遇を抱えた親子同士のコミュニティの場をつくり、親子の悩みを受け止めて力となっていける専門家を交えた地域支援体制をめざす事業。



役員:7名 地域:山梨市周辺 設立:2020年

現状 不登校や発達障害などの悩みを持つ子ども・保護者に対して、各相談機関が連携した支援がなされていない。また相談できる情報が充実した居場所・相談先がない。

Action

県内全域で充実した支援を行っていくための
モデル事業の構築を行う！

- 子どもが安心して居られる場の充実・継続のための仕組み作り
- 6者が連携した支援体制の構築(ケース会議)
- 民間のよさを発揮した情報提供・相談窓口の構築
- フリースクール連絡会への働きかけ
- 行政との連携強化
- 峡東3市教育委員会、山梨県教育委員会への説明
- 峡東3市と豊島区の居場所見学(5か所)
- 不登校フォーラム開催
- 親の会開催(7月)
- 子育て相談会(7月、8月開催、合計3件)



▲自然豊かな環境が子どもたちの心を育みます



▲第1回の不登校フォーラム開催



▲子育ての悩みを共有し合える親の会

課題

- ・連携した支援の形について、峡東3市(山梨市、笛吹市、甲州市)だけでなく、他地域、他のフリースクールへの周知、仕組みの確立に向けて取り組みを続けるための時間と資金が必要。
- ・相談会の周知を図り、子育てに悩む親とのつながり作り。
- ・活動拠点である建物の耐震補強を行うための資金をどうするか。

プログラムオフィサー的 活動のPOINT

青木



行政やさまざまな分野の関係者をNPOがつなぎ、地域の不登校児支援が生まれています。

宇佐美



誰でも受け入れてくれる、そんな雰囲気スタッフと古民家の建物で、地域の多世代の住民が集える子どもたちの居場所、これからもずっと残していきたい！

一般社団法人

ワンオブハート
one of heart代表
中西

不登校に対する社会的理解が進むよう活動しています！

急増する不登校児童のための支援事業

急増する不登校児童のための支援事業。フリースクールの活動を充実させると共に、地域コミュニティの形成及び他のフリースクールと連携しながら、不登校に対する啓蒙活動を行う事業。



メンバー:30名 地域:南アルプス市 設立:2020年

現状 不登校に対する社会的理解が進んでいないため、フリースクール自体が認知されていない。その結果、不登校児童の約4割がどこにも繋がれていない。

Action

不登校に対する啓蒙活動を行い、学校以外の学びの場があることを知ってもらう！

- フリースクール内に「自立支援プログラム」を導入。活動の幅を広げ、多様な学びの要素を取り入れました。
- 地域の方々と繋がり、コミュニティを形成すべく、子ども食堂を始めました。
- 山梨県フリースクール連絡会主催で「山梨県不登校フォーラム2024」を開催。多くの方に不登校の現状を知って頂く機会となりました。
- オンライン交流会である「教育ごちゃまぜ座談会」を開始。子どもに関係する方々が、各々の立場の垣根を越えて集う場となっています。



▲自立支援プログラムで森探検の授業



▲子ども食堂「みんなのアソビバ」



▲山梨県不登校フォーラム2024を開催！

課題

- ・行政との連携。県に対して「不登校に対する検討委員会」の設置を提言したい。
- ・本当に支援を必要としている方に手が届いていない。
- ・行政の協力を待ただけでなく、フリースクール連絡会で運営するフリースクールの設置を検討していきたい。

プログラムオフィサーからの CHECK POINT

青木



学校以外の居場所があるよと呼びかけ、県内フリースクールの連携が進んでいます。

新津



子どもたちが自分で考え、自ら活動する様子に感動。また、不登校問題に関心のなかった方の理解を広げる役割も担っています。



思いがけない妊娠に悩んでいませんか？一緒に良い方法を考えてながら活動しています。

妊娠そうとSOS山梨

思いがけない妊娠に一人で悩み、誰にも相談できない妊婦さんや周囲の方が、匿名で安心して相談できる場所を提供し、こどもの命や女性の権利を守るため、一人ひとりに適切な支援を提供する事業。



役員:6名 地域:県内全域 設立:2004年



現状 物資の支援や緊急避難所の要請に応えられないことがあった。
若年妊娠葛藤に特化した安心できる窓口が少ない。

Action

若年妊娠葛藤対象者が社会的に認知されるよう活動し、安心して相談できる窓口に！

- バス、駅構内ポスターのデザインを高校生の若い目線で作成！
- イベントに参加して直接周知できるように活動中。
- 産科受診同行と心理カウンセリングを行っています。



▲イベントにて活動のPR

課題 ・今後の活動を継続するために資金面をどうするか。

プログラムオフィサー的 活動のPOINT

青木



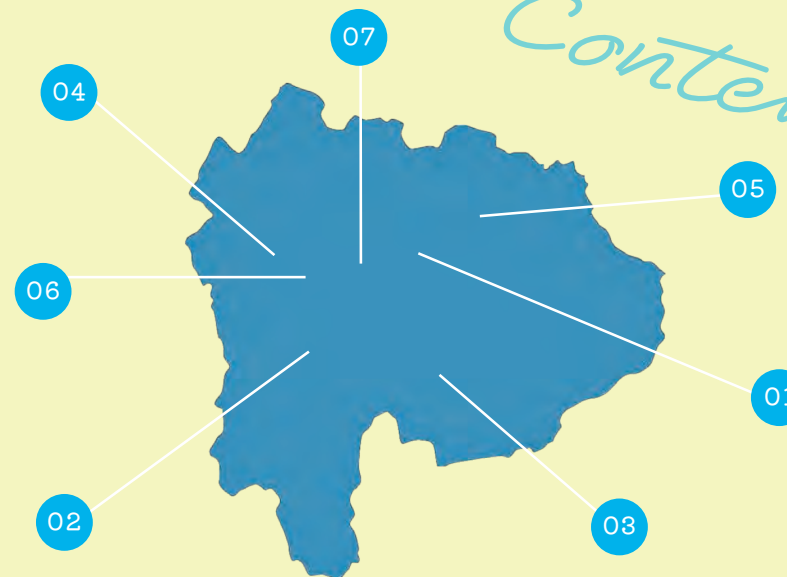
民間の柔軟な相談・生活支援で、うれしい妊娠でなく悩んでいる女性へ寄り添います。

新津



課題を抱えやすい若い世代へ予防的なアプローチしたり、巻き込みながら共に考え活動を行う取りくみは、期待度大◎

Contents



01 Happy Space ゆうゆうゆう

甲府市横根町490-1 1F / hiroba@yuyuyu.org / 070-6453-8889

02 きらきら星

富士川町長澤312-1 / mori.kirakira.boshi@gmail.com
080-3404-8943

03 ぽかぽかキャンプ

富士河口湖町大嵐914 / haruna.ichikawa0927@gmail.com
080-3240-3715

04 芦安ママズ

南アルプス市芦安芦倉726-1 / yuco.kgm@gmail.com / 090-4927-2778

05 WakuWakuの家

山梨市北676 / wakuwakuyamanashi@gmail.com / 090-9007-5463

06 ワンオブハート

南アルプス市在家塚1409-2 / nori@oneofheart.com / 055-244-6482

07 子育て・発達の里

甲斐市島上条1441 / ninshinsoutt2_yell@s-khs.com / 055-287-8087



2024年10月9日発行

認定NPO法人富士山クラブ

山梨県南都留郡富士河口湖町西湖 2870

TEL 0555-20-4600

<https://www.fujisan.or.jp/>